



# ぴーちく ぱーちく



第61号

〒569-0082

大阪府高槻市明野町 10-15 ぷりんせす明野 1F

2016. 5. 25 発行

TEL : 072-672-1294 Mail : wffcj830@yahoo. co. jp 編集・発行 NPO法人自立支援センターたかつき

## しょうがいしゃさべつかいしょうほう おおさか ぱれーど さんか 障害者差別解消法 大阪パレードに参加しました～



4月28日、障害者差別解消法のパレードに参加してきました！今回が初めての参加でした！雨がかなり降っていましたが、そんなことにはまったく構わず、個性豊かな当事者の方々が扇町公園から西梅田まで歩いて「旅行にいきたい」や「バスに乗りたい」など様々なメッセージを発信していましたが、根底にあるものはみなさん障害がある人もない人も差別がなくなることとバリアフリーを目指すという強い声を感じました。しかし、それ以上にぼくは、自分のことだけではなく同じような状況にある仲間のために声を上げ、楽しく生きたいんやということを率直に感じました！その気持ちももっとパレードをきっかけに全国に浸透して障害がある人のために住みよい街にするのではなく、誰もが住みよい街になるためにいろいろな人に関心をもってもらうために、まず自分自身関心を持たないといけない。僕はまだ自分のためにすら声をあげたことはありません。今回のことをきっかけにまず自分が何を強く求めているのか、何がしたいのか、自分の気持ちに素直になることから始めます。（なかた）



合理的配慮のある社会を目指そう



雨の中、参加者の長い列ができました



「障害者差別解消法」の祝賀パレードが大阪扇町公園で行われたので参加してきました。大勢の障がい者、支援者が集会を開き、約300人が午後3時から、扇町公園を出発し西梅田の公園まで色んな仮装で練り歩き、道行く人々に「差別解消法」の施行を訴えました。あいにくの大雨で寒いし、レインコートを着ていても濡れたほどびしょびしょのパレードでしたが、みんなの心は一つになっていたと思います。久々のお祝いパレードで参加者みんなはニコニコしながらのパレードでした。

私も初めてのお祝いのデモ？です。今までは国に対しての抗議の糾弾デモは何回も経験していますが、こういう形のパレードに少し戸惑いを感じました。でも、これは画期的な法律です。みんなの力で中身を作りたいと心に命じました。（まー）



街中を行進中

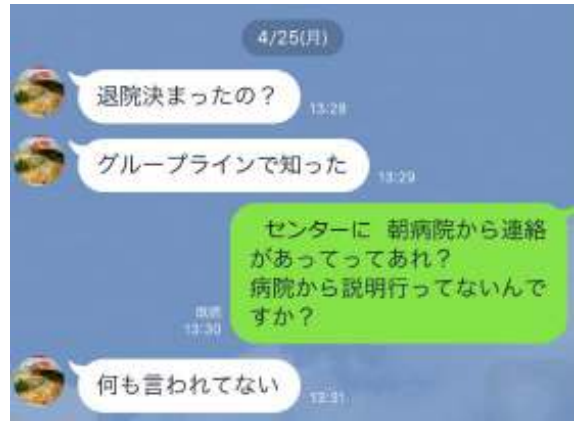


2016 年度も始まった 4 月も半ばのことである。身も心も心機一転と意気込んでいたひろっきーに、突然襲ってきた高熱。近くの病院に行くと言われ、薬を買ったが、熱は一向に下がらず大きな病院に行った。

大病院特有の待ち時間の長さ、おまけにあちこち検査に行かされ、熱に見舞われているひろっきーには重労働だった。やっと診察され、下された診断は「膀胱炎」。まさかだった。高熱で風邪からだから、肺炎かなと思っていた彼には耳を疑う病名。点滴治療のため入院が必要とのこと。すぐに部屋のていはいがされ、即日入院。高槻で自立生活を始めて6年、やっと落ち着いたかなと思っ矢先に突然始まった入院生活。のんびりできていかなと軽く考えていたひろっきーだった。

ところが、病院の1日は長いものだ。朝早くに起こされ、体温などの測定。早起きして仕事に行くわけでもなく、1日の大半を無機質な病室のベッドの上で過ごす。医者からは水分を多くとるように言われたが、目の前にお茶があっても飲めなければ、看護師さんも飲ませにきてくれないという生活で、1日24時間がこんなに長いものかと思っひろっきーだった。

そんな生活も4日を迎えた。暇を持って余したひろっきーはリハビリの先生に頼んで家と同じように口にタッチペンをくわえて携帯を操作できるようにしてもらった。そこで見たものにひろっきーは目を疑った。自分の介助者で作っているグループラインにセンターのスタッフからの書き込み、「橋本さんは27日に退院が決まりました」と。



橋本氏とスタッフのLINEでのやりとり

「はっ？俺、退院できるの？」  
退院にはもう少しかかると思っていたひろっきーにとって、嬉しい話ではあったが、それよりも入院しているひろっきー本人に聞かされていない退院の話、病院の外にいる人が先に知っていることに驚いた。その日の夕方来てくれたスタッフによると、医者からセンターに電話があり、退院日が決まっらしい。

ひろっきーは思った。  
障がい者 = 自己決定できない・保護者がある、と思われているのだと。障害者差別解消法が施行されたとはいえ、まだまだ人の心や意識は変わっていない。まさに「私たちのことは私たち抜きで決めないで」ということを訴えていく必要があると改めて感じていた。

こうしてひろっきーの一足早いGWという名の入院生活は終わった。その後、本当のGWのひろっきーはと言うと、いつものように元気で能天気にお過ごししていたようだ。めでたし、めでたし(ひろき)

ゴールデンウィーク **みかの G W**  
うめだ ちんどうちゅうへん  
**梅田で珍道中編**

5月5日、フォーラムにバイトで来てくれている倉脇さんが、チャリティーコンサートに参加されると聞き、総勢6名で観に行ってきた。梅田に着いて、まずはランチ。13時からということで、ゆっくりランチをして、会場のスカイビルまで30分もあれば余裕で行けるやろ〜とたかをくくっていた。まさか、あんなことが起きるとは、その時は誰も知る由もなく…。



なんとか間に合いました…

さ〜行こうか！と地上に出たのはいいが、誰も車イスでの行き方がわからない。ここからが大変！あちウロウロ、こっ

ちウロウロ。エレベーターがどこにあるかわからないし、すぐそこに見えてるのに行けないという状況。炎天下だったため暑さと歩き疲れで皆ハトハト。さっきのドヤ顔はどこへやら。1時間くらい彷徨って、なんとか到着。梅田なのに、思えば遠くへきたもんだ〜という感じ。着いたのが13時30分。さてゆっくり観ようと思ついたら、次は最後の曲で…マジか!? まー最後のフィナーレの歌とダンスを楽しめたからいいか。

数日後聞いた話によると、倉脇さんは、前半は出ていなくて、丁度私達が着いたときから出られていたらしい。わざと計算して行ったということにしようww 珍道中だったけど、楽しい一日でした。(みか)

前回の、ジムの通うパークレー高校のことが、ジムの白人のグループは？と聞くと、中立だ、日本人の生徒はいるの？と聞いたところ、ちょっと考えてから、日本人の生徒は白人系の派閥に入っていると言っていた。日本人の生徒は、何をしているのと聞くと、日本人ばかり集まって、家でテレビゲームをしている。僕は、ふーんと妙に納得した。

話をリアルタイムに戻します。日曜日には、ハンドクラフトの露店が並びテレグラファベニューをブラブラしたり、当時働いていた武蔵という屋台の調理場を探したりしてパークレーで2-3日過ごした。27年前はまだ、ヒッピーの文化が生き残っていて、暖かい季節には北からやって来る若者たちが、クローバーの花で編んだ髪飾りを女の子にプレゼントして抱き合ったりしていた。地元の高校生たちは、デートをするのに靴を手を持ってみんな裸足で歩いていた。

それから少し遠出して、サンフランシスコのチャイナタウンとイタリア系の移民が住んでる境にある、書店とバーに行きたくなって、うろ覚えの記憶を辿って行った。やっぱりあった。昔のままだった。

その本屋もバーも、50年代にビートという詩人の運動があって、それを始めたジャック・ケルアックという詩人にちなんだ場所だ。アメリカに行く前、お金を貯めるのに八重洲の地下街でウェイターのバイトをしていたとき、レコードのジャケットを描いてた人が一緒に働いていて、その人に餞別と言って渡されたのが、ジャック・ケルアックの「路上」という小説だった。飛行機の中で読んだのを覚えている。まさかその時は、サンフランシスコのそんな所縁の本屋やバー

に来るなんて思いもよらなかったの、すごく不思議な感じがした。けれど、アメリカはどんなことも起こる国なのでそれほど奇跡であるとかは、思わなかった。

そしてなんと、すぐ近くにジャック・ケルアックのミュージアムが出来ていた。

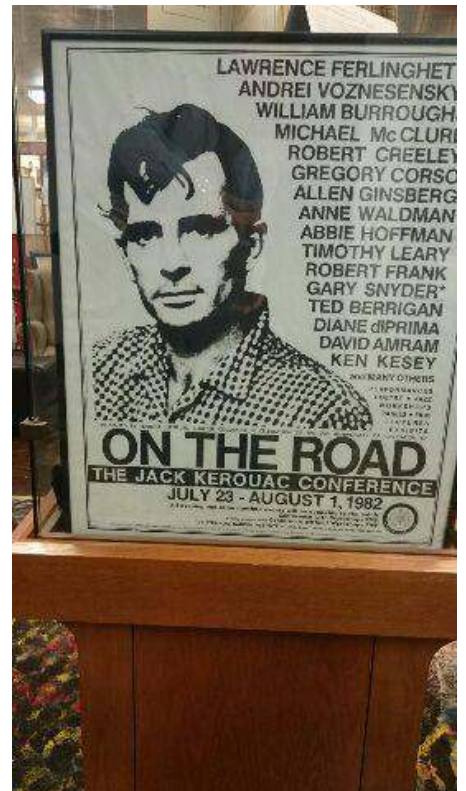
地元のロックバンド、グレードフルデッドのもう亡くなったギタリスト、ジェリー・ガルシアの写真も飾ってあった。もろカウンターカーチャーの、地元文化が、60年以上も継続して記念されてることに感動した。果たして、日本の障がい者の運動や文化が原形のまま、記念されるのだろうか？と考えてしまった。

(次回へ続く)



ひだりうえ ばーべすびおの  
(左上) パー・ベスピオの  
ウォールアート

ひだりした じえりーがるしあ  
(左下) ジェリー・ガルシア  
(右) ジャック・ケルアック。



ぶん：じゅん / かわかみ じゅんいち  
文：JUN / 河上 順一



# じりつしえんせんたー 自立支援センターたかつき～わたしたちが、やっていること～

- ・**重度訪問介護 従業者養成研修**：年に2回（9月と3月ごろ）研修を行っています。
- ・**ピアカウンセリング**：当事者同士でお互いの気持ちを共感・共有します。
- ・**自立生活プログラム(ILP)**：宿泊体験・外出体験・料理体験など自分の自立生活に必要な知識や経験を身につけていきます。
- ・**自立体験室**：実際にヘルパーを使って生活をする体験ができます。誰でも使えるので気軽に声をかけてね。
- ・**相談・情報提供**：障がい者の生活に必要な情報の提供を行い、相談にのります。
- ・**障がい者自立フォーラム(地域活動支援センターⅢ型)**：日中に集い、障がいを持つ仲間、友人作りの場として活用して下さい。私たちと一緒に自分探しをしませんか？



みんなで



7月は、みんなで神戸どうぶつ王国に行きませんか？

こうべ

おうこく

神戸どうぶつ王国へ

日程：7月9日(土) 9:30 阪急高槻集合

詳しくはチラシをごらんください～



い  
行こう！



## ヘルパー対象「障害者差別解消法」学習会

今年の4月から「障害者差別解消法」が施行されました。いったいどんな内容なのか、みんなでたのしく勉強しませんか？

日時 2016年6月25日(土) 10:00～12:00

場所 当事業所事務所にて

申し込みは、自立支援センターたかつき(072-672-1294)まで(当日参加も可)  
(2時間分の給与と交通費が支給されるので、みなさんふるってご参加下さい)

## 6月の自立フォーラムの予定

☆毎週木曜日はクラフトの日！

カワイイ手作り品作り、お気軽に体験しに来て下さい！

☆セラピードッグも来ています！ 13時半～無料です！！

訓練を受けた犬達とゲームをしたり、散歩したり、自然と心と体のリハビリに。

6月3日、17日金曜日開催予定！！ウンちゃんも待ってます。きてネ！

☆「ミカ@マーケット」は6月14日 コーヒー一杯、100円です～

☆6月6日には映画をみます～

お問い合わせは自立フォーラムまで 072-672-8532

